

# 予算改革に必要な視点

土居 丈朗

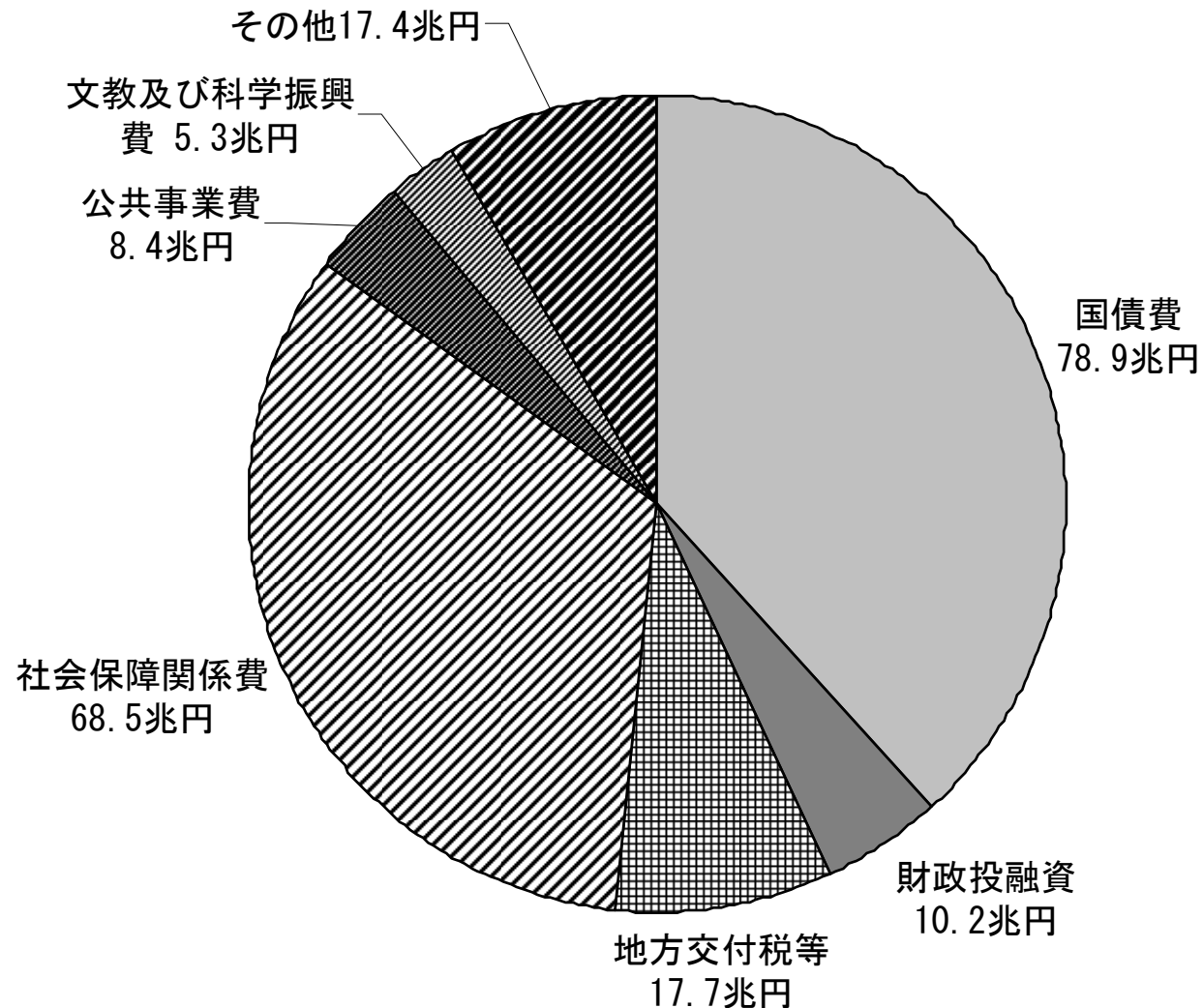
(慶應義塾大学経済学部)

<http://web.econ.keio.ac.jp/staff/tdoi/>

# 概 要

- 予算編成改革
- 無駄削減に何が必要か
- 中期的な財政計画(複数年度予算)
- 長期計画との整合性
- 国と地方の財政関係
- 経済見通しの精緻化
- 財政健全化目標の設定

# 2009年度当初予算 歳出総額 206.5兆円(一般会計・特別会計純計)



# 予算編成改革

- 一般会計、特別会計の一体的な予算編成
  - 特別会計は、所管省庁の「価値観」が色濃く反映
  - 各省庁が、それぞれ独自の「価値観」を持ち相互不可侵
  - 例：一般会計の税収は「財務省のお金」、社会保険料は「厚生労働省のお金」、道路特定財源は「道路局のお金」という認識  
→ 国民から見ればどれも国民が払ったお金
  - 「価値観」を統一して、トップダウン式の予算編成を
  - 特別会計の見直し
- 補正予算も含めた予算統制が必要
  - 補正予算は概算要求、シーリングの枠外。
  - 「補正回し」にせず当初予算で決着を
- 度の過ぎた裁量が働いた補正予算に歯止めをかけるには、中長期的な財政計画が必要

# 無駄削減に何が必要か

- よりよい質の行政サービスをより少ない予算で
- 予算編成時に無駄削減
- 予算執行上の無駄削減
- 予算節約のインセンティブがほとんどない
  - 予算要求段階のインセンティブ
  - 予算執行段階のインセンティブ
- 「節約した予算額」をどう理解するか
  - 本当に努力して節約した予算
  - たまたま使う必要がなくなった予算
  - 事前に過大に見積もった予算が余ったもの
- 予算節約をどう次年度予算に反映するか(ルール化を)

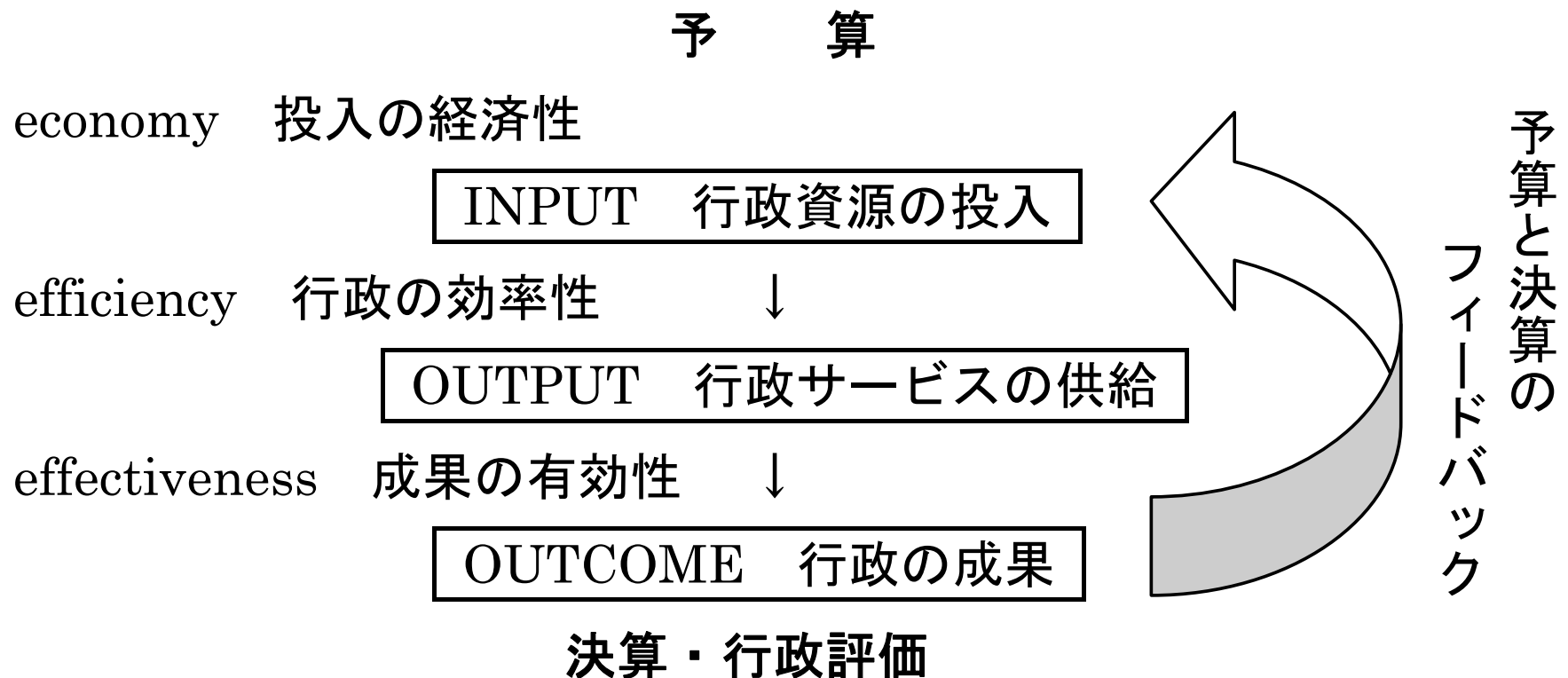
?

# 中期的な財政計画(複数年度予算)①

- 複数年の歳出総額とアウトプット・アウトカムで中期的(3年程度)に統制
- 予算と政策評価との連動が重要
  - 目標設定は具体的なものでなければ意味がない
  - 評価するからには、良し悪しを明確に
  - 財政民主主義、租税法律主義の観点から、予算(インプット)の事前統制は必要
- 評価が甘いと、アウトプット・アウトカムで統制しても、無駄遣い(インプット)を抑制できない
- フル・コストや発生主義的なコストを認識できても、現場でコスト節約につながらなければ、導入効果は薄い
- 各部局の予算執行の裁量権は、成果に対する責任とセットで与える

# 中期的な財政計画(複数年度予算)②

- 予算と決算・行政評価のリンク



# 中期的な財政計画（複数年度予算）③

- 「量出制入」と「量入制出」の使い分け
    - 今後の社会保障費の増大を見越して、税収や保険料収入の増加を企画する
    - 国債増発を抑制するために、現行税制で得られる税収に合わせて、歳出を抑制する
  - 中期的な財政計画を策定する際には、省庁横断的に総合調整を行い、トップダウンで戦略的に予算配分
- ※ 景気対策は、財政政策だけでは力不足であり、財政赤字に過度に依存しては不健全。  
金融政策やその他の政策との協力が不可欠



# 長期計画との整合性

- 社会資本整備（公共投資）の長期計画
- 社会保障費の中長期見通し
- これらは、中期的な財政計画と整合的になるように策定する必要
- 公共投資は、予算統制が比較的容易（どれだけ作る（作らない）かを決めることが重要）
- 社会保障費は、出来高払い制が主なので、どこまで統制できるか
  - 診療報酬、介護報酬の決定を、中期的な財政計画にどこまで関連付けられるか

# 国と地方の財政関係

- 地方交付税総額の決定は、地方財政対策で決めてきた
- 地方歳出の見積もりのあいまいさ
- 現行の地方交付税制度は見直しが必要
- 国と地方の役割分担の見直し → 地方分権
  - 国の予算で計上すべき支出か否か
- 国と地方が協力して無駄削減に取り組む
- 国から地方への財政移転が大きいので、地方自治体が無駄を削減しないと、国の予算で節減できない部分が多い

# 経済見通しの精緻化

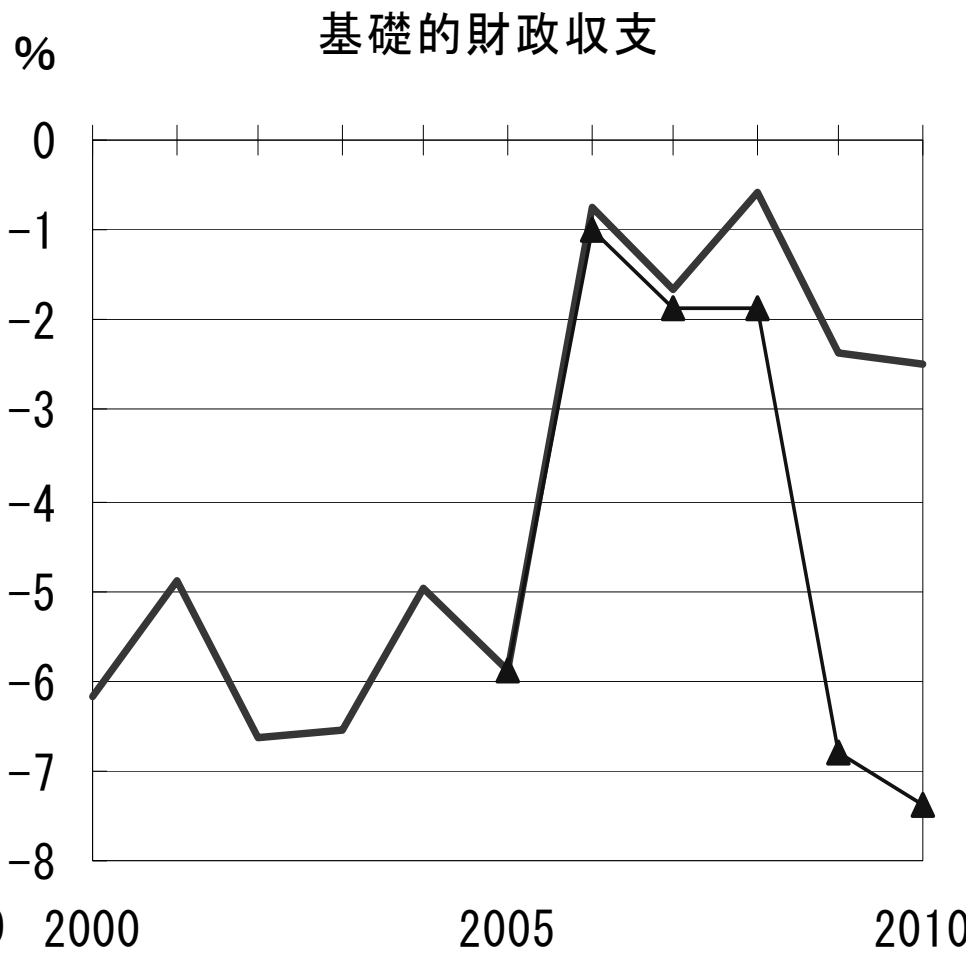
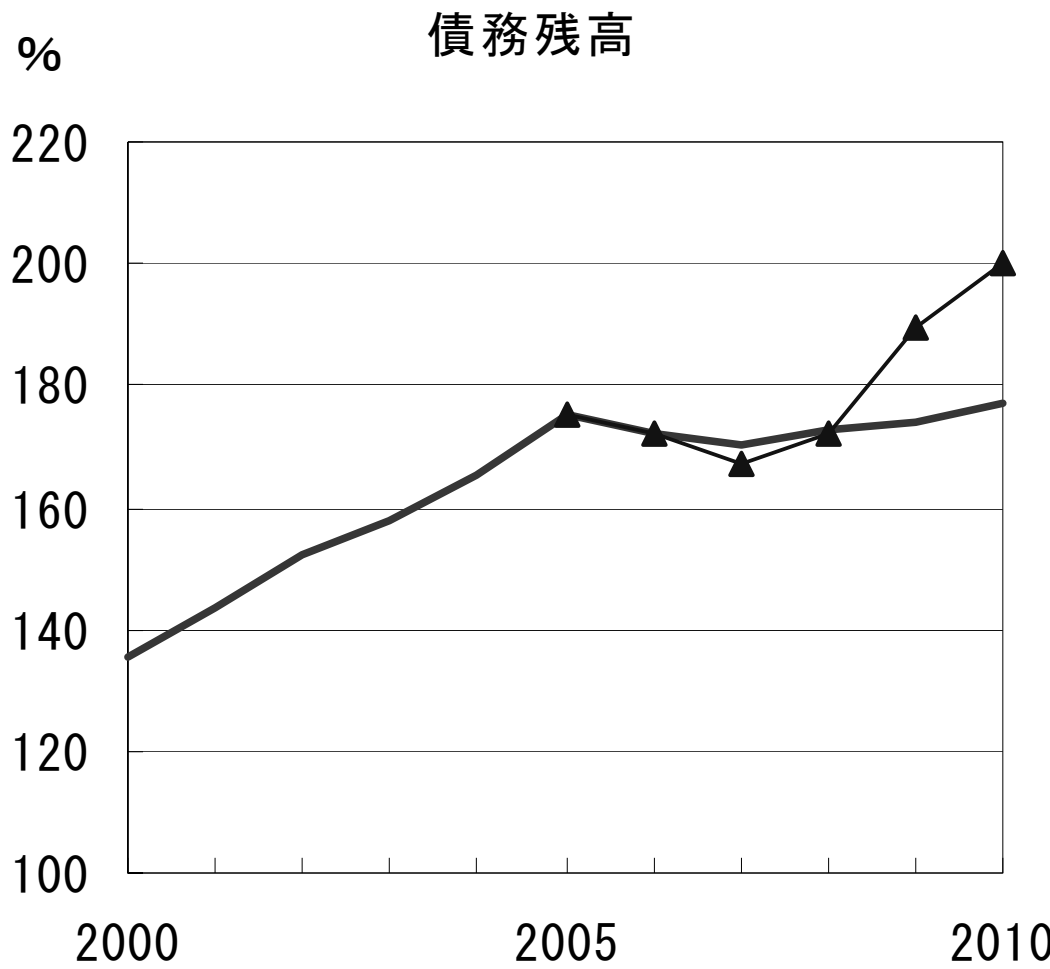
- 中期的な財政計画には、慎重な経済見通しが必要
- 経済見通しの不統一
- 「参考資料」程度の位置づけから「格上げ」を
- 複数のシナリオがあってもよいが、メインシナリオを設定し、コミットする

# 財政健全化目標の設定

- できるだけ早期に財政健全化目標を設定することが必要
- 「2020年代に…」という長期的なものでも構わないから目標を設定することが重要
  - 長期国債の投資家は、長期的な視野で運用を検討
- ストック(政府債務残高)だけでなく、フロー(財政収支)の目標も
- できれば、予算統制と連動する形で目標設定を
  - 予算・決算とSNA(国民経済計算)との間に乖離

# 我が国の財政状況

## (対GDP比; 一般政府)



— OECD 2008/12 ▲ OECD 2009/6

— OECD 2008/12 ▲ OECD 2009/6